

## TOKYO PRO Market への上場目的の開示

2026年5月20日

(証券コード：7680)

株式会社 軽自動車館

代表取締役社長 阿部 章一

問合せ先：執行役員管理部長 佐藤 哲康

TEL：011-200-0312

URL：<https://keijidousyakan.com/>

### 1. 当社の事業概要と上場の背景

当社は北海道において、軽自動車専門の販売・買取・車検整備、アフターサービス、損害保険代理業を一体的に提供する軽自動車専門企業として事業を展開しております。軽自動車は地域住民の生活インフラとして不可欠であり、当社は創業以来「安心・安全・手頃な価格での提供」を基本理念として、地域に根ざした事業運営を通じて事業規模を拡大してまいりました。

当社は、以下を企業理念・経営ビジョンとして掲げます。

#### (企業理念)

「安心・安全・手頃な価格での提供」

#### (経営ビジョン)

- ・地域に最も信頼される軽自動車の総合サービス企業を目指します
- ・安心・安全・信頼を提供するサービス品質を確立します
- ・従業員が誇りを持って働ける企業風土の形成を図ります
- ・北海道から本州へと事業領域を拡大し、持続的成長を実現します

### 2. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は、事業基盤の強化、ガバナンス体制の整備、情報開示の高度化を進めるうえで、TOKYO PRO Market が当社にとって最適な市場であると判断しており、その理由は以下のとおりであります。

#### (1) 当社の成長段階に適した市場構造であるため

TOKYO PRO Market は形式基準がなく、成長過程にある企業でも上場できる市場であり、当社の現在の事業規模・成長ステージに適合しております。

#### (2) 継続指導制度により、体制整備を段階的に進められるため

TOKYO PRO Market では J-Adviser による継続指導が義務付けられており、ガバナンス・開示体制を段階的に整備できる点が、当社の現状に合致しております。

#### (3) 当社の事業特性と市場の性質が一致しているため

当社の事業は、多数の取引先・金融機関との信頼関係が重要であり、透明性・ガバナンスを重視する TOKYO PRO Market の市場性と高い親和性があります。

当社は、TOKYO PRO Market 上場により得られる信用力・資金調達手段の確保・外部専門家(監査法人及び J-Adviser) の助言を活用し、中期経営計画の確実な成長と将来の成長投資の実行可能性を高めてまいります。

### 3. TOKYO PRO Market 活用のための取組事項

当社は、現時点において中期経営計画として、2026年10月期に以下の業績計画を掲げております。

項目	金額（千円）
純売上高	4,838,160
売上総利益	916,512
販売費及び一般管理費	836,512
営業利益	80,000
経常利益	65,000
当期純利益	42,000

当社は決算期変更により、これらの計画が決算期変更後の初年度であり、計画を確実に達成し、さらにその先の成長を実現するために、(1)成長に向けた経営基盤の強化が不可欠であることを認識しております。また、当社は現時点においてプロ投資家からの資金調達を予定していませんが、将来的な事業拡大に備え、金融機関からの借入を行い、成長投資を進めるため、(2)企業の信頼・信用力向上による事業基盤の強化 さらに(3)管理体制及び情報開示体制の強化が重要であると認識しております。

#### (1) 成長に向けた経営基盤の強化

TOKYO PRO Market 上場により、必要に応じて成長投資を実現できる体制を整備し、以下の領域における強化を図り、中長期的な成長基盤を目指してまいります。

##### 【取組事項】

- ・在庫管理システムの高度化（AI 需要予測・在庫価格最適化等）
- ・車両整備機能の拡大（自社整備工場の増設・設備更新）
- ・オンライン販売体制の整備
- ・本州エリアへの出店準備

##### 【評価指標】

- ・売上・利益計画の達成度（定量）
- ・設備投資・システム投資の実行状況（定性）
- ・本州出店準備の進捗（定性）

#### (2) 企業の信頼・信用力向上による事業基盤の強化

当社は、金融機関、仕入先、提携整備工場、広告会社等、多様なステークホルダーとの取引が拡大しています。

TOKYO PRO Market 上場により、財務・ガバナンス・情報開示の透明性を高め、企業としての信頼・信用力を向上させることで、金融機関からの信用力向上、採用市場における認知度向上、取引先との契約交渉力の強化、仕入条件の改善及び取引拡大の促進の効果を見込んでおります。

当社は、TOKYO PRO Market 上場企業としての信用力を活用し、事業基盤の安定化と持続的成長を図ってまいります。

##### 【取組事項】

- ・金融機関との取引条件の改善
- ・採用市場における認知度向上
- ・仕入条件の改善及び取引拡大

**【評価指標】**

- ・借入条件の改善状況（定量）
- ・採用応募者数の増加（定量）
- ・当期純利益の成長（定量：2026年10月期計画42百万円）
- ・金融機関・取引先からの評価（定性）

**（3）管理体制及び情報開示体制の強化**

当社は、事業規模の拡大にともない、経営管理の高度化、組織運営の効率化、情報開示の適正化が求められております。

TOKYO PRO Market 上場を通じて、監査法人及びJ-Adviser の指導のもと、以下の管理体制の強化を計画的に推進してまいります。

**【取組事項】**

- ・経営管理体制の高度化
- ・取締役会を中心とした意思決定プロセスの明確化
- ・情報開示体制の整備及び透明性の向上
- ・リスク管理体制の強化

**【評価指標】**

- ・開示書類作成期間の短縮（定量）
- ・取締役会の議題の充実度（定性）
- ・経営管理プロセスの改善状況（定性）

**4. TOKYO PRO Market 上場目的の実現状況の継続的評価・開示**

当社は、上記に掲げた各取組事項について、毎事業年度において実施状況を検証し、「取組事項」「判定」「取組結果」の形式で適切に開示することにより、透明性の高い経営を継続してまいります。

以上